

平成 29 年度第 1 回 荒尾市総合計画審議会 議事録要旨

- 【日 時】 平成 29 年 8 月 24 日（木） 14:30～16:30
- 【場 所】 荒尾市役所 11 号会議室
- 【出席委員】 別紙のとおり
- 【事務局】 石川総務部長、堀江市民環境部長、塚本保健福祉部長、一木建設経済部長、田川産業振興課長、米田農林水産課長、橋本子育て支援課長、前田健康生活課長、田端くらしいきいき課長、西田都市計画課長、大神生涯学習課長、片山高齢者支援課長、田代福祉課長、宮脇政策企画課長、田中政策企画課長補佐、林田参事、平山

記録者：政策企画課 林田

1. 開会

宮脇課長が開会を宣言し、配付資料の確認を行った。また、欠席者及び代理出席者を紹介した。

2. 委嘱状交付

宮脇課長が、人事異動や役員改選等で新たに委員に就任された方を紹介し、浅田市長から、委員を代表して西島委員に委嘱状が交付された。

3. 市長あいさつ

- ・新・第5次総合計画は、予め設定した目標に対する達成度を毎年検証し、継続的な改善を行うPDCAサイクルを導入している。目標の達成状況だけでなく、成果に対する要因の分析等を行いながら、より効果的な施策を推進したい。
- ・今後見込まれる人口減少、超高齢化社会という課題を乗り越えるには、市民や地域団体をはじめ、様々な団体との更なる協働が不可欠である。
- ・人口減少を克服し、明るく豊かな未来を切り開いていくためにも、総合計画に基づく施策を、スピード感を持って着実に実行したいと考えているので、委員各位の忌憚の無いご意見をお願いしたい。

4. 会長・副会長の選任

事務局提案により、会長に荒井委員、副会長に那須委員が選出された。

5. 会長・副会長あいさつ

(荒井会長)

- ・全国的に地方創生が推進され各市町村が人口減少抑制に努めているが、昨年の熊本地震により、被災地を中心に人口減少が加速した。
- ・荒尾市は地震の被害はそれほど大きくなく、人口減少の進行度も比較的緩やかだが、地域の活性化を図り、荒尾市のアイデンティティを高めるためにも、人口減少対策を強化することは重要である。
- ・委員の協力をいただきながら、議事を進行していきたい。

(那須副会長)

- ・総合計画は荒尾市の最も重要な施策を推進していくための計画である。
- ・将来の荒尾市の道標となるよう、委員のご意見をいただきながら、取りまとめを行っていきたい。

6. 総合計画の一部改定についての諮問

平成 27 年度に策定した新・第 5 次荒尾市総合計画は、計画期間の中間年度を迎え、計画中の目標指標について一部修正が必要な箇所が存在すること、また、「あらお未来プロジェクト」など、新たな施策との整合を図る必要があるため、浅田市長から荒井会長に対し、総合計画の一部改定について諮問が行われた。

なお、浅田市長は、諮問後、公務の都合により退室した。

7. 議事

荒尾市総合計画条例第 8 条第 2 項に基づき会長が議長となり、荒井会長が以降の議事を進行した。

(1) 総合計画の概要及び推進体制について

田中課長補佐が、資料 1-1、1-2 及び 1-3 に基づき説明を行った。質疑等はなかった。

(2) 平成 28 年度の成果検証結果及び改善方針(案)について

政策ごとに、各政策部会の部会長及び担当課長が、資料 2-1 に基づき説明を行った。また、地方創生加速化交付金を活用した事業ごとに、各事業の担当課長が、資料 2-2 に基づき説明を行った。

《主な意見等》

- 成果検証結果は良くまとめられているが、行政の課題として、政策間の縦と横の繋がりが乏しいことがある。
例えば、荒尾干潟ではマジック釣り大会や修学旅行客の体験プログラムが行われており、観光分野に関する成果として記載されているが、教育分野に関する成果としての報告は見られない。
また、成果として良い事だけを記載するのではなく、南関町で発生した鳥インフルエンザなど、本市以外の場所で発生した課題に対する対応状況なども記載が必要ではないか。
→成果検証結果は政策全般の総括として、平成 28 年度の新たな取り組み状況を中心に取りまとめている。全ての事項を記載することは困難だが、本市を取り巻く主な要因等の説明についても、今後、成果報告と併せて行ってまいりたい。
- 昨年度、地方創生加速化交付金を活用して、有明海の漁場環境の改善を図るための様々な取り組みを行ったが、有効活用されていなか

った貝殻を加工して散布するという試みは良かったと考えている。また、有害生物であるナルトビエイを活用するため、ナルトビエイを調理して試食したが好評であった。このように、今まで使われていなかった資源を捨てるのではなく、有効活用できる道筋を探していくことも重要ではないか。

- 荒尾玉名地域結婚サポートセンターにおける成婚者数は、会員同士の成婚者数は7組だが、会員以外との結婚11組を加算すると、合計で18組の成婚となっている。
荒尾玉名地域の2市4町に住んでいただき、結婚を通じて幸せな暮らしを送っていただくためにも、引き続き、結婚サポートを推進したい。
- 地方創生加速化交付金を活用した事業の内、「ひとが輝くまちづくり人材発掘・育成プロジェクト」については、目標値に対する達成状況が低い結果となっている。当初の目標と比べて成果が出なかった要因は何か。
 - 本事業は移住という難しいテーマを対象としたものであり、一つ一つの事業が直接的に結果に結びつくことは少ないという性質がある。本事業では、看護・介護人材をターゲットに定め、都市部の就職相談会への出展などを行ったが、本市の知名度不足もあり、費用対効果に課題が残ったところである。
- 移住を促進するためには、空家や公営住宅など、良質な住宅ストックを整備する必要がある。また、移住促進を図るためにPR活動を行う場合、東京などの大都会は競合自治体が多く、PRの効果を出すことが難しいため、ターゲットを絞っていくことが重要である。荒尾市は災害が少なく暮らしやすいという特性があるので、このことを積極的にPRしてはどうか。
 - 新しい市営住宅は全て入居済みとなっているが、昭和40年代に建設した市営住宅は現在の間取りと異なっており、老朽化も進行している状況である。
 - 移住者のターゲットとしては、特に、働く世代が重要になると考えている。本市の強みを精査してイメージ戦略を構築し、プロモーション活動を行いたい。

(3) 総合計画の改定方針(案)について

田中課長補佐が、資料3に基づき説明を行った。

《主な意見等》

- 重点戦略改定案の「みんなで築く安心づくり」について、これまでの重点戦略の考え方にあった、人口減少を抑制するための少子化対策が課題であることは理解するが、荒尾市の高い高齢化率についても重要な課題である。
団塊の世代が高齢となる2025年問題については、介護職が絶対的に不足するという大きな課題があり、介護職の確保強化などの対策を図ることが重要である。
大牟田市では、廃校を活用して、高齢者向けの用途へと転用しているようだが、荒尾市も同様の取り組みを行っているのか。
また、中国からの観光客について、今までは旅行の目的は買い物が中心だったが、日本の文化資源へと関心が高まっている。荒尾市にある宮崎兄弟の生家などの地域資源を活用し、海外から観光客を呼び込むことも、重点戦略を検討する上での重要な視点である。
→今後の高齢化の進展に伴い、医療介護職、特に介護職の不足が見込まれることは重要な課題であると認識している。このような課題認識から、昨年度、地方創生加速化交付金を活用して、医療・介護職の移住促進に取り組んだところである。介護人材の不足に関する構造的な問題については、本市の独自施策だけでは対応が難しい面もあるが、国の動向を注視しながら、対策を講じてまいりたい。また、高齢者向けに廃校を活用することは、今のところ予定していない。
- 本日は、重点戦略の柱立てや、これまでの総合計画と整合が図られているかの確認を中心に行っているので、重点戦略の具体的な内容については、次回の審議会でも、改めて審議を行いたい。
また、平成28年度の成果検証結果について、6本の政策それぞれの成果や課題の説明が行われたが、それぞれの政策を総合し、荒尾市全体としての成果やシナリオを演出するためのコーディネーターの存在が必要であると考えます。

8. その他

宮脇課長から、第2回審議会は11月に開催する予定であることを説明した。

9. 閉会

宮脇課長が、閉会を宣言した。

以上

平成29年度第1回 荒尾市総合計画審議会 出席者名簿

平成29年8月24日

	分野	団体名	役職名	氏名	備考
1	学識経験者	熊本学園大学	経済学部特任教授	荒井 勝彦	
2		九州看護福祉大学	社会福祉学科長	西島 衛治(新)	
3		有明工業高等専門学校	校長	高橋 薫	欠席
4	経済	荒尾商工会議所	会頭	那須 良介	
5		一般社団法人荒尾市観光協会	会長	山代 秀徳	
6		玉名農業協同組合荒尾市総合支所	担当理事	西川 克己	欠席
7		荒尾漁業協同組合	代表理事組合長	矢野 浩治	
8	金融	荒尾市金融団	代表 肥後銀行荒尾支店支店長	吉村 栄治	欠席
9	労働団体	連合熊本肥後有明地域協議会	議長	古賀 宏宣	
10	雇用	玉名公共職業安定所	所長	西森 健一(新)	
11	職業訓練	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 熊本支部熊本職業能力開発促進センター	荒尾訓練センター長	鎗田 頼秋	欠席
12	教育	荒尾市教育委員会	教育長	永尾 則行	
13	医療	荒尾市三師会	副会長 荒尾市薬剤師会 会長	村本 慎悟	代理出席
14	スポーツ	荒尾市体育協会	会長	山口 賢一	
15	文化	荒尾市文化協会	会長	田中 豊洲	
16	住宅	熊本県宅地建物取引業協会荒尾支部	支部長	村上 裕二	欠席
17	結婚	有明広域行政事務組合 (荒尾・玉名地域結婚サポートセンター)	総務課長補佐兼企画係長	城戸 正令	
18	福祉	荒尾市社会福祉協議会	会長	丸山 秀人(新)	
19	市民団体	荒尾市子ども会連合会	会長	橋本 誠剛	欠席
20		一般社団法人荒尾青年会議所	理事長	前田 和仁(新)	
21		荒尾市老人クラブ連合会	副会長	高山 一啓(新)	
22		女性ネットワーク荒尾	代表	深浦 淳美(新)	
23		荒尾市PTA連合会	理事	田中 由紀(新)	欠席
24	住民代表	荒尾市行政協力会	会長	藪内 孝則(新)	
25		荒尾市地区協議会会長会	会長	河部 啓宣	
26	熊本県	県北広域本部玉名地域振興局	局長	家入 淳	
27	行政	荒尾市	副市長	田上 稔	

※敬称略、順不同